

練習や試合で自身がおこなっている弓種を（複数の場合は複数で）記載くださ

今回の一連の全ア連の動きに関してご自由に意見を記載ください

全ての弓種	様々な理由があつての事業計画であろうが、全ての事業は選手ファーストに計画されるものであつて欲しい。
RC,BB	RC社会人、BB全日で楽しんでいた私の場合、BBが全日社会人と同一開催のみになってしまうと、BBをやる気力が無くなり、BBをやらなくなります。ぜひ、復活していただきたくお願いいたします。
RC,BB	全ア連からの正式文書の中に「一本化が競技者の皆様にとってより良い形になると考えております。」とあるが、競技者の事を考えているとは到底思えません。
RC,BB	何故試合を減らす？学生がいないから社会人大会に1本化、ますます意味がわからない。議論も無く新たに試合を作ってやっただから良いだろうというご目線で運営しているの分からない横柄さ、全アが選手権大会と活動している選手を軽んじているという事ですすね。
RC,BB	ベアボウの全国大会が1つ減ることはそれを目標にがんばっている選手にとって非常に残念なことです。もとに戻してくださるようお願いします。
RC, CP, BB	AIにて今回の顛末（状況）を解析させるとBBのWAでの位置付けを反映させたような気配も見受けられます所謂、「上（WA）に倣え」的な対応？ですが、AJAFとしてBBをナショナルイベントの部門として確立した事実を誇っても良いのでは？なんならAJAFがWAに動きかけてBBをRC/CPと同格の部門として確立させる位の気概をもって対応してほしいです
RC	自分たちの思いだけで進めるのはダメでしょ 世の中の意見をよく聞いた方がいいと思いますよ
RC	ベアボウを含めたアーチェリー界全般の発展を切に願っています。どうぞよろしくお願いします。
RC	1/15付の全ア連からの通知文書読みましたが、色々納得できません。 2020年にBB部門がターゲット競技に入ってきてまだ6年しかたっていない。翌2021年から全日本選手権にBB部門が新設されまだ5年です。現場に身を置くものとしては、やっど他部門などからの転向者なども増えて今までより若い世代のアーチャーが増え広がりを見せている状況です。全日本選手権への参加者が増えていくのはこれからではないでしょうか？まだ結論を出すには早すぎるように思います。 「申請基準点や取得スターバッジの緩和を行っても参加定員に満たない」ともありますが、過去5大会で基準点が下がった形跡はありません。説明文書に嘘は許されません。 「過去5年間で高校生大学生の参加がなかった」とありますが、そもそもBB部門の普及に向けて全ア連はなにがしかの努力をしてきたのでしょうか？また、CP部門についてもここ数年高校生の参加はなかったと思いますが、こちらは問題ではないのですか？ どうもここ近年生全ア連の動きを見ていると、JOCや上部団体の顔色ばかり窺って一般のアーチャーの方を全然見ていないように思います。競技会の1部門を廃止するということは大変大きなことです。もっと下部団体の状況や意見を十分吸い上げたうえで判断していただきたいと思います。
RC	いつもありがとうございます
CP	連盟のトップだけで競技種目を無くす決定をする事は承服できません。
CP	「歴史ある」全日本ターゲットアーチェリー選手権大会のタイトルはどの部門であっても目指したいものだと思います。事前の通達や協議なしに決定してしまうのはプレイヤーとしては辛いものがあります。

全ア連通知文書に挙げられた理由について意見を記載します。  
(各項目の「→」以降に私の意見を記載します。)

①全日本ターゲット選手権のペアボウ部門に高校生・大学生の参加が全くなかったこと →今年度の全日本室内選手権には、学連選手の参加があります。

ターゲット種目に追加されてからそれ程年数が経過しておらず、これから若い選手が出てくる時期ではないのでしょうか。

②社会人大会との参加層の重複により、両大会の独自性が確保しづらい状況であったこと  
→上記と同様、これから新しい選手が出てくる時期ではないのでしょうか。

(BBがターゲット種目となってから競技を始めた選手が全国大会に出てくるようになるには、それなりの時間がかかるものかと思えます。)

③申請基準点や取得スターバッジの緩和を行っても参加定員に満たない状況が続いていた  
→何か緩和されたものがあったのでしょうか。

④ペアボウ競技の普及を進め、より参加しやすい全日本大会を目指すこと

→全くもって意味不明。なぜ全国大会を減らすことが「より参加しやすい全日本大会を目指す」ことに繋がるのでしょうか？これでは、ただ選手のモチベーションを下げるだけではないのでしょうか。

参加しやすい大会とするに当たって、仮に何か目指すものがあるのであれば、その方策まで示したうえで広く会員から意見を求めるべきではないのでしょうか。

⑤2025年12月6日に開催した全国事務局長会議にて、方針を説明している

→「方針を説明した」ということは、会議の議題として諮ったのではなく、「連盟の方針として通達を行った」という意味に取れます。この説明に対して、会議の参加者からは何も意見が出なかったのでしょうか。

また、この文章からは、「全ア連側はその会議で説明してあるのだから、あとは各地に持ち帰って説明していない側が悪い。我々に落度は無い。」との考えが透けて見えます。通知文書中に「地域の選手や関係者の皆様に正確な情報が行き届くことは、競技運営を円滑に進めるうえで大変重要です。」と記載がありますが、今回のように多くの競技者が影響を受ける事項については全ア連のHP等にて直接広報する必要があるのではないのでしょうか。

今は令和です。一体、いつの時代の話をしているのでしょうか？本通知文書を読んだ感想としては、まずBBの全日本ターゲットからの種目削除をしたいという意図があって、それに後付けで理由を追加したように読めました。どのような意図があるにせよ、全国大会のフォーマット変更などという大きな変更を、

12月に公表して即次年度からなどというのは乱暴ではないかと思っています。

もっと早くに公表するなり、意見を公募して再来年度からの変更を目指すなり、やり方はあるのではないのでしょうか。

BB、CP

BB

1. 選手は全国大会にむけて職場・学校との日程調整、試合に向けた体調管理と練習公認試合の予定の調整を行っている。今般提示の日程は半年もの前倒しになり、準備期間が取れないものであり混乱が生じている。

2. アーチェリー競技はメンタルの要素が大きいスポーツであり、すでに大会が無くなるかもしれない・時期や内容がわからないという不安が選手に生じている。理事会でよくよく議論をお願いします。

BB

全ア連から出された文書の内容では、ペアボウを全日本ターゲットから外す合理的な説明に全くなっていない。

まず高校生・大学生の参加が無い、というのは当たり前で、なぜなら高校大学の試合にペアボウ部門が無いのだから。では全ア連は高校大学の大会にもペアボウ部門を設けるように働きかけたのか？何か普及活動をしたのか？それも無く、学生の参加が無いからといって社会人大会と全日本大会を分ける意味が無い、というのはおかしいです。それで言うならコンバウンド部門も学生は数名でほとんどが社会人だと思いませんか？

それと、申請基準点の緩和とは一体何のことですか？そんなことした事実はないですよね？そして全日本ターゲットにおいて定員割れが続いたことは無い(唯一定員割れしたのは定員を24名に増やした2023年のみ。それも参加者は23名で割れたのは1名だけ。それ以外の年は定員以上のエントリーがあった)。根拠の無いことを理由にペアボウ部門を全日本ターゲットから排除しようとするのはあってはならない。

あと、大会を一本化することがペアボウの普及に繋がるという理由が全く分かりません。普通に考えて、大会数が多い方がチャンスも増えて普及に繋がると思いますが？

最後に、これほど大きな変更を、選手に何も意見を聞くことなく全ア連の中だけで勝手に決めるのは、横暴だと思います。どうしても全日本ターゲットからペアボウ部門を外したいなら、納得のいく理由を説明してほしい。今出されている通達では説明になっていません。

BB

世間で騒ぎになっているからとりあえず文章を出しましたという形ですね。社会人以外エントリーがないという理由でたった5年で廃止にするって何なんでしょう。今回の全日本室内アーチェリー選手権ではまた新たに若い世代が出場されるではないですか。小中学生の方でBB選手も増えています。これからではないのでしょうか。彼らの将来的な目標としても存続希望します。

BB

全ア連の意図がわかりませんか？縮小して行く？拡大していく？底辺の拡充をしないといずれはすたれるような気がします。

BB

今回の決定を残念に思っています。

BB

排除有りきの動きに反対します！

BB

1月15日全ア連から正式文書の内容はとても残念です。

「ペアボウ競技は近年大きく広がりを見せており、本連盟としてもその発展を大切にしております。」と書かれていますが、ペアボウを排除する方向で動いているとしか思えません。

BB

文書にて説明された内容では全く理由になっていないと感じました。

BB

署名を無視しないで、話し合ってください！